



しががっく  
かるたのせいぢ  
おうみじんぐら



か  
うけつがれる  
みんなのえがお



しがしゅう  
でんとつ  
はたたいそう



や  
えいかり  
まんとと



か  
こてもまけても  
たのしい  
うたやうかい

創立一五〇周年記念  
「しがやふる」かるた大会  
かるた大会はチーム戦で、大いに盛り上がりました。



フ  
あたらしくのまじり  
るまゐるかな



や  
いっさいのあじは  
じんのあじは  
だいかんせいー



フ  
イベントたくさん  
たのしいお



ル  
ビーのように  
かがやく  
えがおのあいつ  
しがっこー



る  
んるんるん  
なごやまの  
くじら  
あまのこまがくは



# 謝辞

150th Anniversary

## 創立150周年を終えて

昨年6月に、志賀小学校、同保護者会・「はなぞの会」、自治連合会、各種団体等の関係者で志賀小学校創立150周年記念事業準備委員会を立ち上げて以降、部会・役員会・実行委員会等で慎重に検討を重ね、プランクの設置・人文字の航空写真・パンフレットの作成・記念誌の発行など多彩な取り組みが行われるとともに、6月21日に記念式典を盛会裡のうちに終えることができました。

記念式典では、市長及び教育長の祝辞のあと、地域と学校の歴史を振り返るスライドショーや6年生児童による新・旧校歌の斉唱（この場面では涙を流す参加者もありました）、地域と小学生徒が制作した「しがやふるカルタ」の表彰式等が行われました。記念事業の成就に向けて一丸となってお尽力いただきました実行委員の皆様、心より感謝と御礼を申し上げます。

志賀小学校は、明治8年に花園学校が開校され、その後、簡易科志賀小学校・滋賀尋常小学校・同高等小学校・志賀国民学校等々の校名の変遷を経て昭和22年に現在の志賀小学校となり、以降、滋賀里地区の唐崎学区編入、山中分校の山中比叡平小学校への移行等の経緯を経ながら本年150周年を迎えることとなりました。この間、常に児童と真摯に向き合い熱意をもって指導に当たっていただいた教職員の皆様に深甚より御礼を申し上げたいと存じます。

私たちの住むまち「滋賀学区」は、皇子山古墳・大津の宮跡・南滋賀廃寺跡等々の豊かな歴史遺産に恵まれ、多くの人々が訪れている地域です。湖西線や西大津バイパスの開通により急激に人口が増加し大津市でも有数の住宅地帯となりましたが、昭和30年代までは京阪電車から琵琶湖側は一面田畑が広がる農村地帯でした。このような昔の様子を志賀小学校の旧校歌で「春は緑の麦畑、湖（うみ）まで続く麦畑・・・」と唱われています。

現在の志賀小学校は、生徒数が765名を数える大規模校となり、「あいさつ」・「そうじ」・「しっかり話を聴く」という三校訓を土台に教職員の皆様の温かい指導の下、きめ細やかな教育が行われています。今後も充実した教育目標のもとに生徒がワクワクドキドキするような授業が行われる学舎（まなびや）となることを期待しております。

最後になりましたが、記念事業の実施に当たり志賀小学校保護者会・「はなぞの会」に心から御礼を申し上げますとともに、わが母校志賀小学校の今後益々の隆盛と滋賀学区の発展を祈念申し上げ記念誌発行に当たって御礼の挨拶とさせていただきます。

実行委員会会長 大伴 克巳



## お礼の言葉

志賀小学校の150周年記念、誠におめでとうございます。このような歴史的な節目に、保護者会長として寄稿させていただくことを大変光栄に感じております。

志賀小学校は、これまで地域と共に歩み、地域の未来を担う子どもたちを育て続けてきました。その長い歴史の中での多くの出会いや経験は、子どもたちだけでなく、私たち保護者や地域にとってもかけがえのない財産です。学校が家庭や地域と連携しながら一体となって子どもを育てる姿勢は、時代が変わっても変わらない理想だと感じています。

今日、子どもたちが学び、遊び、成長する志賀小学校は、これまで携わってくださった先生方、地域の皆様、

そして卒業生の方々が築いてくださいました。保護者会としても、子どもたちがより良い環境で学べるように、これらも学校と家庭の橋渡し役を担い、一歩一歩支え続けてまいります。そして、共に未来を見据えながら、志賀小学校の伝統を守り、新たな150年の歩みに向けて協力していきたいと思っております。

改めて、150周年の節目を迎えられたことに心よりお祝い申し上げますとともに、これからの未来を担う子どもたちが輝き続けることを願っております。

志賀小学校保護者会「はなぞの会」会長

木戸地 泰孝



150th Anniversary

150th Anniversary

◆ 志賀小学校創立150周年記念事業実行委員会 ◆

会 長 大伴 克巳 (滋賀学区まちづくり協議会会長)  
副 会 長 平 野 宏 (滋賀学区自治連合会会長)  
// 岡本 幸一郎 (志賀小学校校長)  
// 木戸地 泰孝 (志賀小学校保護者会・はなぞの会会長)  
// 倉田 松隆 (滋賀学区自治連合会副会長)  
// 北林 大尚 (青少年育成学区民会議会長)  
事 務 局 長 永 阪 哲 (滋賀学区自治連合会事務局長)  
事 務 局 次 長 大 家 久明 (志賀小学校教頭)  
庶 務 村部 謙介 (志賀小学校教務主任)  
// 佐野 友哉 伊吹 麻理子 今門 千映子  
会 計 高野 真由 (はなぞの会)  
顧 問 谷 祐治 (元はなぞの会)  
会 計 監 事 柳 田 功 (滋賀学区自治連合会会計)  
// 成宮 茂生 (滋賀学区自治連合会理事)

事業部会長 木戸地 泰孝 (兼務) 高野 真由 (兼務)  
部 員 遠藤 貢 小田 勝己 平野 太一  
村部 謙介 教務主任 (兼務) 佐野 友哉 (兼務)  
伊吹 真理子 (兼務) 今門 千映子 (兼務)

記念誌部会長 倉田 松隆 (兼務)  
部 員 中西 克武 塚本 真也 上田 明美 渡邊 眞智子  
高田 裕貴 常喜 佐恵子 岡本 幸一郎 校長 (兼務)

式典部会長 北林 大尚 (兼務)  
部 員 粉川 省吾 山岡 孝広 上田 佳美  
大家 久明 教頭 (兼務)

◆ ご協力ありがとうございました ◆

皇子山中学生ボランティアの皆様  
比叡山中学生ボランティアの皆様



大津市立志賀小学校 創立150周年記念誌

## 未来につなごう 私たちの思い

2025年12月23日発行

発行 志賀小学校創立150周年記念事業実行委員会

印刷 社会福祉法人いしづみ会



### 表紙絵について作者のコメント

描いたのは、改築される前の昭和30年頃の校舎をモデルとしています。  
もちろん、校舎を直接見て描くことは叶わないので、数冊の卒業アルバムをお借りして、そこに載っている写真を頼りに描きました。

とはいっても、昔のアルバムなので、児童のクラス写真がメイン。  
校舎を撮った写真がほぼ無いのです。  
唯一あった校門前の写真と、クラス写真の背景からわずかに見える校舎を参考にしました。

もう少し古いアルバムも見せてもらったのですが、  
どうやら戦前と戦後で、校舎の玄関部分が造り直されているようです。  
絵は、戦後の方で描きました。

こだわったのは、校門へ上がるころの枝垂れ桜です。昭和のアルバムでは、  
端っこに桜の葉っぱが見えていました。  
この桜は、いまでも校庭にあり、春にはみごとな花を咲かせているとのこと。

校門で待っているのは、セピア色の昭和30年頃の児童たち。  
そして、そこへ向かって駆け上がっているのが、令和の子どもたち。  
卒業生と在校生のマリアージュ。

自分たちの学校の歴史に、現代っ子が触れる。  
これは自分でも、ニンマリとするアイデアでした。

ふとした瞬間、天啓のようにアイデアが降りてくることがあるのです。  
絵の構想には時間がかかりましたが、このシーンを思いついてからは、筆が進みました。

福山聖子